

NAPRO EARTH スキルアップ通信 VOL.82

2018年 第4号
株式会社ナプロアース 総務部 発行
TEL (024)573-8091 FAX (024)573-8092

“天下盗り”の野望なき戦国武将に学ぶこと

「名将」と呼ばれる偉人には共通点がある。「生き方ルール」とでも呼ぶべき心情を持っていることだ。今回は上杉謙信の「無欲と義の姿勢」という信条についてー。

「上杉謙信は戦国大名の常識がなかった」

群雄が割拠した戦国時代に、上杉謙信ほど“義”を重んじた武将はいない。当時、朝廷が地方の有力者に与えていた官位はほぼ形骸化してしまい、いわゆる下剋上が横行していた。そのなかにあって、彼は天下盗りの野望も持たず、武田信玄との5度におよぶ川中島の合戦も、信玄に追われた信濃の豪族たちを救済するためのものだった。

真剣に物事に取り組む様子を「一所懸命」という。一所というのは土地のこと、武将にとって、土地を支配し、年貢を徴収することが領国経営の基盤だった。だから、それを奪おうとする者とは戦うわけだが、謙信は他の武将のように己の欲のために合戦を仕掛けたことは1度もないといつていい。いい意味で戦国大名の常識がなかったといえる。彼は「おれは越後の人と土地を守る。それが俺の役目だ」と決めていたのだろう。

戦略としては、越後の豪族たちから信頼を勝ち取ることだった。土地も一旦は謙信に返上させ、そのうえで私することなく誰もが納得する再配分をしたのだ。そして、彼らを直臣として越後国内のいくつもの砦を任せたのである。こうした主従の“絆”は、無敵を誇る上杉軍団となり、その自信は足軽一人ひとりにまで浸透していく。

▼なぜ武田信玄は「甲斐の国に何かあれば謙信を頼れ」と言ったか

それには、越後一国を統治する理念が必要である。現代の会社に当てはめればミッションといえるだろう。上杉謙信が掲げたのが「第一義」という言葉である。禅の思想から生まれたものだが、それをよく物語る逸話がある。ライバルの武田信玄でさえ、死の床にあって「甲斐の国に何かあれば謙信を頼れ」と遺言したと伝えられているのだ。

史実は確かではないが、謙信の美談に「敵に塩を送る」というものがある。信玄と今川氏真との同盟が破棄された後、氏真は海のない武田領への塩の輸送を全面禁止した。謙信はこのことを耳にし「卑怯な手段を取るべきではない」と、越後の商人が塩を送ることを黙認したという。こんな逸話が生まれるほど、宿敵に対しても感情にとらわれた選択はしなかった。

なぜ上杉謙信は「軍神」と呼ばれたのか

ところで上杉謙信は、合戦に臨むに際して、居城・春日山城の奥にある毘沙門堂にこもって戦勝の祈願を行った。毘沙門は北方を守護する四天王のひとりだ。その声を聞き、軍配を執った戦いはほとんど負け知らず。越後が、京から見て北に位置することから、謙信は「われを毘沙門天と思え」と周囲を鼓舞した。

やがて、家臣たちもそれを信じたのだから、そのカリスマ性はすごいというほかない。これは、イメージ戦略のようなもので、謙信が非常にストイックな生き方をし、欲得にまみれていないから、軍神としての位置づけが可能になったのだろう。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

NAPRO EARTH スキルアップ通信 VOL.82

2018年 第4号
株式会社ナプロアース 総務部 発行
TEL (024)573-8091 FAX (024)573-8092

また謙信の強さは、自由な精神にあったと思う。誰もが常識や欲に支配されることで不自由になるものだが、自分に素直に生きた謙信はそれと無縁な存在で、力を存分に発揮できたのではないか。

いま、ビジネスパーソンが上杉謙信から学ぶべきことは“信念”を持つということにはかならない。加えて、明確なビジョンをはつきりさせ、自己実現をめざすのである。ただし、それは個人の栄達ではなく「誰かのため」という幅広さが必要だ。会社をひとたまりの岩だとすれば、自分はその一部となって、岩全体を維持していくという気概を持つことである。

最後に、48歳で世を去った謙信の辞世の句を紹介しよう。それは「四十九年一睡の夢一期の栄華一盃の酒」というものだ。いかにも酒好きだった彼らしい。自分の人生などひと眠りの間に見た夢のようにはかない。人の一生の栄華など一杯の酒にすぎなかつたというものだ。悟りにも通じる心も謙信にふさわしい。

▼上杉謙信に学ぶべきポイント

- 1：常識や欲に支配されずに力を存分に発揮する
- 2：ライバルに対して感情にとらわれない選択をする
- 3：信念と明確なビジョンで自己実現をめざす

(歴史小説家 童門冬二)

PRESIDENT Online より



世界禁煙デー

毎年5月31日は、世界禁煙デーです。喫煙や受動喫煙による健康被害に関する啓発を進め、たばこを吸わないことを一般的な慣習として根づかせるための日として定められました。

今年度当社は「元気で働く職場」応援事業のモデル事業所に選ばれました。そこで6月4日（月）、保険福祉事務所と伊達市の方が来社され禁煙に関する啓蒙活動をしてくださいます。

福島県は急性心筋梗塞の死亡率が男女とも全国第1位です。塩分摂取率や喫煙率が高いことが分かります。

東京都では2020年東京五輪・パラリンピック開催を見据えて受動喫煙防止条例制度を目指していて、従業員を雇用している飲食店は店舗面積に関係なく原則屋内禁煙にする骨子案を発表したそうです。

ますます喫煙者の肩身は狭くなりそうです。

この日を機に、禁煙に取組んでみては如何でしょう。

新入社員のためのビジネスマナー

挨拶はいつでも・だれにでも

挨拶は、ビジネスマナーの基本で、相手とのコミュニケーションを円滑にする道具です。以下の点に留意しましょう。

1.「一度済ませたから後は素知らぬふり」では効果はありません。それ違う際に会釈だけでもすることで、常にその人の意識の中に存在感を残すことになります。

2.上司・先輩だけでなく、同僚や後輩に対しても挨拶は必要です。

3.挨拶は「目上の人」や「取引先」だからするというのではなく、自然体で誰にでも分け隔てなく日頃からすることで身に付くものです。

4.社外においても、取引先にうかがった際には直接の商談相手だけでなく、周囲の人たちにも挨拶をしておくことで、後々にも円滑な取次ぎが期待できます。

あ…明るく い…いつでも さ…先に つ…続ける

挨拶の基本を見直すことで相手に好印象を与え、ビジネスの成功に一步リードしましょう。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します